



市長室から

令和元年7月

平年より遅い梅雨入りでしたが、水害シーズンとなりますので、関係機関と十分連携しながら万全の防災対応に努めてまいります。

さて、新しい元号「令和」がスタートして2カ月が過ぎました。国全体が祝賀ムードの中、本市においても、新しい時代が市民の皆さんにとって希望に満ちた時代となるよう、市政に取り組む決意を新たにいたしました。

新元号を祝うかのように、本市でも喜ばしい出来事がありましたので、ご紹介します。

1点目は、昨年に続き「花のみちプロジェクト」植栽会を、6月1日に行いました。多くの市民に参加いただき、本村交差点から山の手までの通りが、夏色の「花のみち」に生まれ変わりました。

た。グリーンアベニュー通りなども含め、荒尾のまちを自分たちで良くしていきたいという皆さんの強い思いを感じることができ、私自身、大いに励まされました。

2点目は、待望の「荒尾干潟水鳥・湿地センター」がいよいよ8月10日に開館します。今後は、ラムサール条約湿地「荒尾干潟」の魅力やその価値を広く発信しながら、体験プログラムも充実し、多くのご来場をお待ちしています。

3点目は、競馬場跡地などで進めている土地区画整理事業を生かした新しいまちづくりの提案が、国土交通省スマートシティモデル事業の重点事業化促進プロジェクトに採択されました。これは、民間との連携による最先端の情報通信技術をまち

づくりに活用する取り組みで、市民や来訪者の健康、移動、エネルギーを中心とした提案です。今後は、国の支援を受けながら、事業化に向けた実証実験などを進めていきます。

さらに、今月発行の「広報特別号」や新たに開始する「地区担当職員制度」、秋の開催を予定しています住民懇談会などの取り組みを通して、市民の皆さんと心をつなぐ、共に一歩前に踏み出し、新しいチャレンジによって荒尾の未来につなげてまいります。よろしくお願いいたします。

荒尾市長 浅田敏彦

5/29 ハイレベルな大会を勝ち抜き準優勝
～全日本青少年選手権大会 準優勝～

▶浅田市長(右)へ受賞報告をする三浦さん(中央)と田添先生(左)



4月に埼玉県で行われた極真館全日本青少年選手権大会で「型の部・小学6年女子」に出場した桜山小学校6年生三浦由芽さんが準優勝し、市長に喜びの報告をしました。大会では、予選の上位5人が決勝に進み、決勝では得意の型を披露しました。三浦さんは「次は優勝したい」と強い思いを語りました。三浦さんを指導する極真館荒尾道場の田添先生は「練習をよく頑張り、大会に出るたびに上位入賞している。道場の他の子たちにもいい影響を与えている」と話しました。

6/1・2 新緑の宮崎兄弟の生家を彩る
～宮崎兄弟の生家 いけばな展～

▶アジサイなどの初夏の花々が生家に夏を告げてくれる



今年度は初夏の新緑におおわれた宮崎兄弟の生家で「いけばな展」を開催しました。毎年春に開催していた「いけばな展」ですが、今回は少し雰囲気も変わって、アジサイやカラーなどの初夏の花々が花材になりました。荒尾華道会の皆さんによる涼やかで素敵な生け花作品が生家に夏を運んでくれました。二日目は少し雨もちらつきましたが、約100人が観覧に訪れ、恒例の生け花体験もとても盛況でした。

地域の活動 掲示板

岩本橋周辺整備



平井地区協議会

井手川グラウンドゴルフ大会



井手川地区協議会

カラオケ大会



桜山げんきかい

夕方市



万田地区協議会

鯉のぼりまつり



平井地区協議会

MYコンテナハウス作り



万田中央地区協議会

6月17日、荒尾干潟水鳥・湿地センターにて

